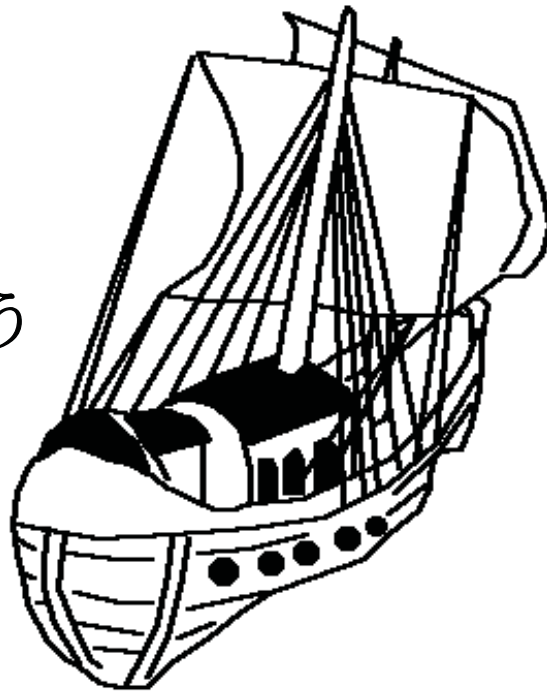


こども
子供のインターネットバイブル
あんない
案内いたします

パウロの
びっくりするよう
なたび



ぶん
文: Edward Hughes
え
絵: Janie Forest

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick
しゅつばんしゃ
出版社: Ruth Klassen

60話の第59話

www.M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

まよ せ たいん う せ せ せ せ
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

日本語

Japanese

パウロとシラスは、イエスさまのせし。

ろうやの中にいますね。なにか、
わるいことをしたのかな。いいえ、
なにひとつ、わるいことをしていません。

ふたり おんな ひと なか あくれい
二人は、女の人の中にいた悪霊をお

い出したのです。そして、ぐう像を
礼拝しているフィリピの人々に、

ほんとうの神さまと、み子イエス

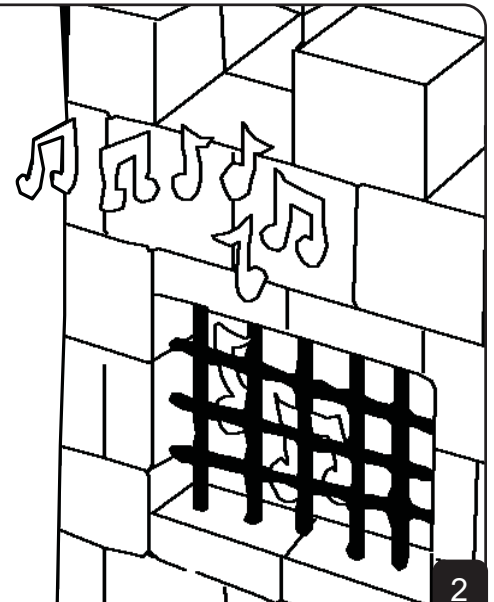
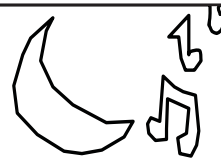
さまの力を見せました。

でも、そのた

めに二人は、
つかまってし
まいました。
むちでうたれ、
ろうやにとじこ
められています。

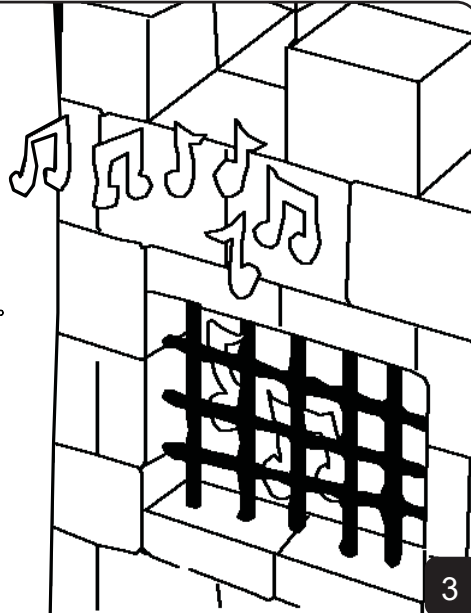
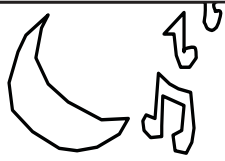


1



みなさんは、ひよとして、
こう思っているかもしれま
せんね。パウロとシラスは、
ひどいことをされ
ておこっていると。
いえいえ、
そうじゃありません。

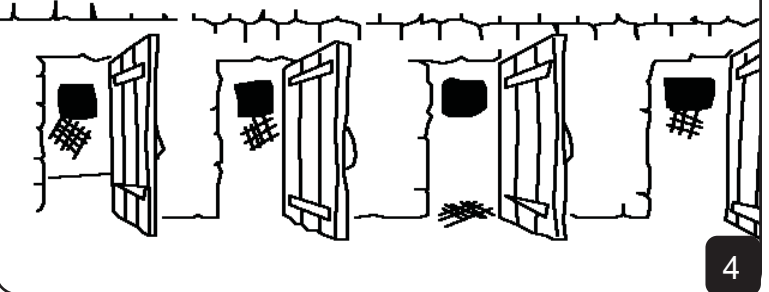
2



じつは、二人は、
 ま夜中もずっと、おきたまま。
 神さまへの賛美のうたを
 うたっていたのですよ！
 ろうやに入れられて
 いるほかの囚人も、
 ろうやの見はりばんも、
 みんな賛美のうたを、
 きていますね。

3

とつぜん、うたがやみました。あつ、じしんです。神さまが、
 じしんをおこされて、ろうやをゆさぶりました。ろうやの入り口が、
 みんなひらいてしまっていますね。そして、囚人たちのくさりも、
 みんなはずれています。



4



うわあ、どうしよう！見はりばんは、おもいました。
 このさわざで、ろうやに入れられた人は、みんな
 なにげってしまったにちがいない。もし、
 一人でもにがしてしまうと、見はりばんは、
 死のぼうをうけるでしょう。
 かわいそうな見はりばん。かれは、
 じぶんの刀をぬきました。
 じぶんで死んだほうがいい。
 それで、なにもかも、
 おしまいにしておもうと、
 おもいました。

5

けれども、そのときパウロが、
 大ごえでさげびました。
 「やめなさい、
 じぶんで死んではいけない。
 わたしたちは、
 みんなここにいる。」
 えっ、ほんとうだろうか。
 かれらが、
 そこにいとわか
 った見はりばんは、
 言いました。



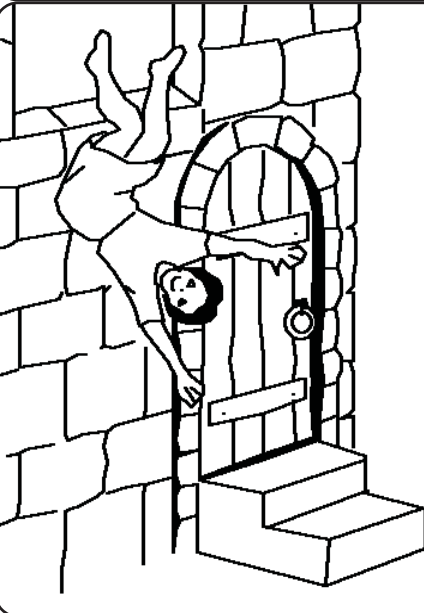
6

「先生、すぐわれるには、
 どうしなければいけないのでしょうか。」
 そこで、かれらはこたえました。
 「主なるイエスキリストを、
 信じなさい。そうすれば、
 すぐわれるでしょう。
 あなたもあなたのかぞくも、
 すぐわれるのです。」
 こたえをきいた見はりばんは、
 大よろこび。
 すぐに信じましたよ。

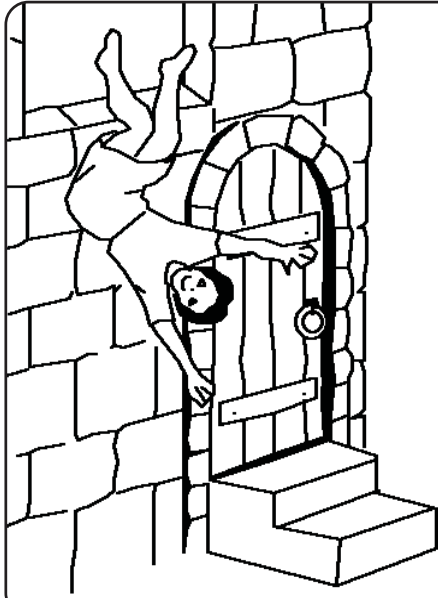


7

さて、つぎの日です。
 ろうやから出たパウロとシラスは、
 いろいろな町を、たびして回り、
 イエスさまのことを
 人々につたえました。
 ある人たちは、
 イエスさまを信じ、
 また、ある人たちは、
 二人のじゃまをし
 ようとしました。



8



けれども、神さまは、しもべたちのそばに、いつもいてくださいます。
ある夜、パウロは、なんじかんも神さまについておしえていました。
一人のわかい男が、あいているまどにすわって、はなしをきいていますね。あれっ、すっかりねむってしまったようです。あっ、あぶない、おちそうですよ。みなさん、その人がどうなったか、そうぞうできますか。

9

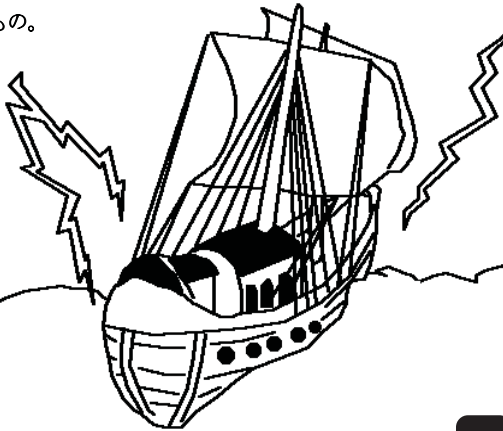


ああ、かわいそうに。みんなは、そのわかものは、死んでしまったことが、わかりました。けれども、パウロはどうしたでしょう。下りて行き、わかものをだきよせ、言いました。「かれは、生きている。」そのとき、人々は、そのわかものが生きあつたとわかったのです。みんな、よろこびでいっぱいです。

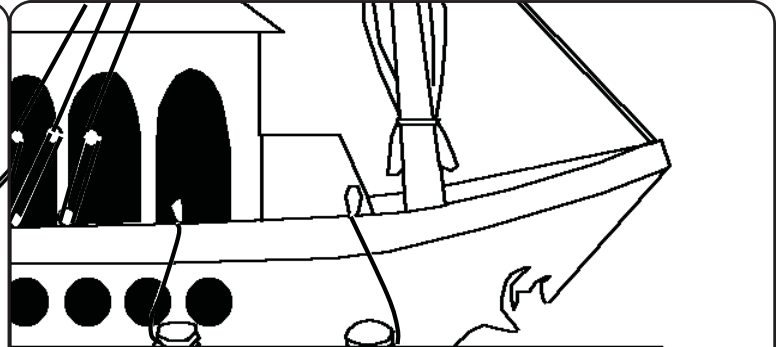
10

ヨーロッパをたびしながら、パウロとシラスは、たくさんのぼうけんをしました。パウロのすばらしいぼうけんの一つを、おはなししましょう。パウロが、船にのっているときです。その船は、がんじょうで大きいものではなく、帆をはっただけの小さいもの。

あらしの中では、上がったり下がったり、はげしくゆれますよ。

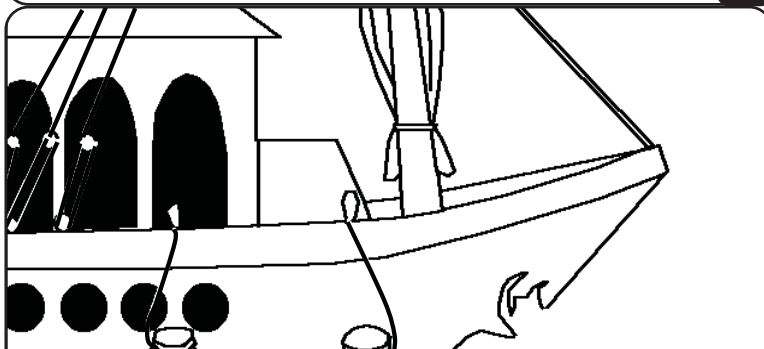


11



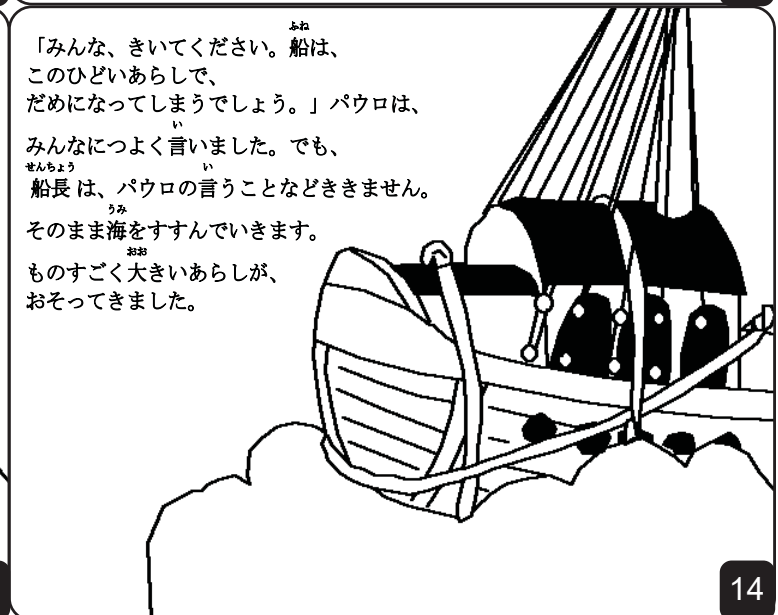
パウロは、その船にのっていました。なぜなら、また、つかまえられてしまったからです。かれは、ローマの皇ていのところへ、いかなければなりません。ローマは、そのころ国々の中心の町でした。

12



はげしいかぜがふき、船はのろのろ。あっ、と止まってしまいましたね。あらしがやってきそうです。パウロも、ほかの囚人たちも、船ではたらく人たちもみんな、そのたびは、ほんとうにたいへんでした。

13



「みんな、きいてください。船は、このひどいあらしで、だめになってしまうでしょう。」パウロは、みんなにつよく言いました。でも、船長は、パウロの言うことなどききません。そのまま海をすすんでいきます。ものすごく大きいあらしが、おそってきました。

14

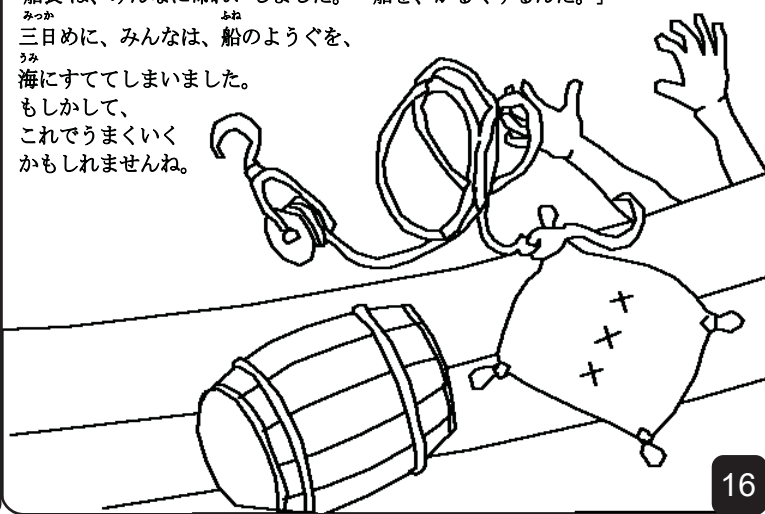
うわあ、たいへんだ。みんなは、
船をそこからロープでまき、
しっかりくくりつけました。
これで、船がバラバラになりませんように。
もし、船がこわれてしまったら、
みんな、海のなかで、
死んでしまいます。



15

船は、上や下に、右や左にぐらぐら。あまりはげしくゆれうごくので、
船長は、みんなに命れいしました。「船を、かるくするんだ。」

三日めに、みんなは、船のようぐを、
海にすててしまいました。
もしかして、
これでうまくいく
かもしれませんね。



16

夜のあいだ、天使がパウロのそばに立って、つたえました。「だいじょうぶ。
すべてうまくいきます。」そして、パウロが、みんなにつぎのように言ったと

き、みんなはゆう気がわいてきました。「さあ、みんな、
元気をだして。わたしは、神さまを信じています。
神さまの言われたようになるのです。しかし、
わたしたちは、かならず
ある島にうち上げられ
るはずですよ。」



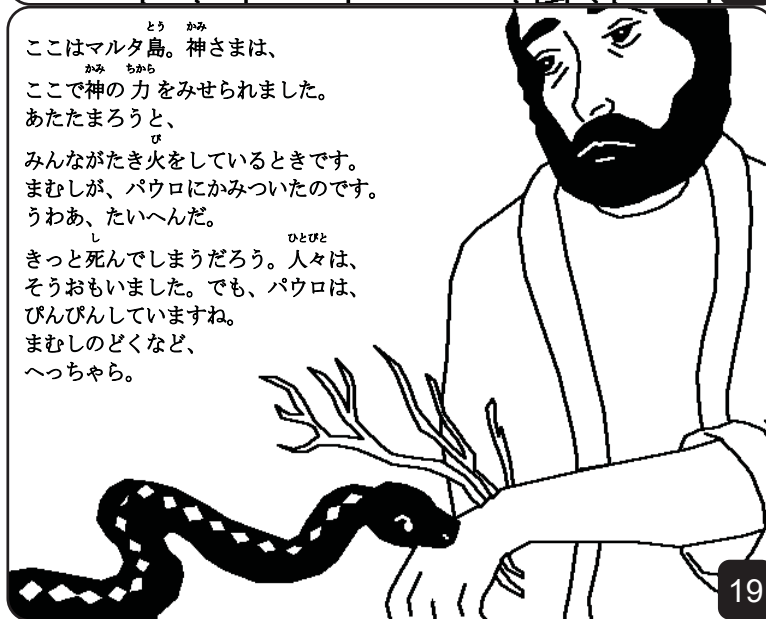
17

なん日か、たちました。船はマルタ島のちかくを、ながさ
れていったかと思うと、ドシン。水のあさいごつごつ
した岩にぶつかり、ばらばらになってしまいました。
船長は、めいれいしました。「さあ、およげる者が、
はじめに海にとびこんで、りくに上がれ。のこりの
者も、うまくにげろ。板きれにのったり、こわれ
た船のはしにつかまったりするんだ。」



18

ここはマルタ島。神さまは、
ここで神の力をみせられました。
あたたまるうと、
みんながたき火をしているときです。
まむしが、パウロにかみついたのです。
うわあ、たいへんだ。
きっと死んでしまうだろう。人々は、
そうおもいました。でも、パウロは、
びんびんしていますね。
まむしのどくなど、
へっちゃら。



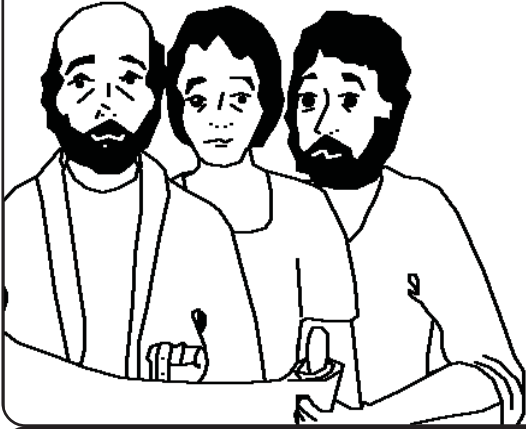
19

そこで、島の人々は、
パウロは神さまだとおもってしまいました。
びょう気の人が、
つぎつぎパウロのところにやってきました。
パウロが祈ると、
神さまは祈りにこたえてくださり、
人々をすっきりなおしてくださいました。



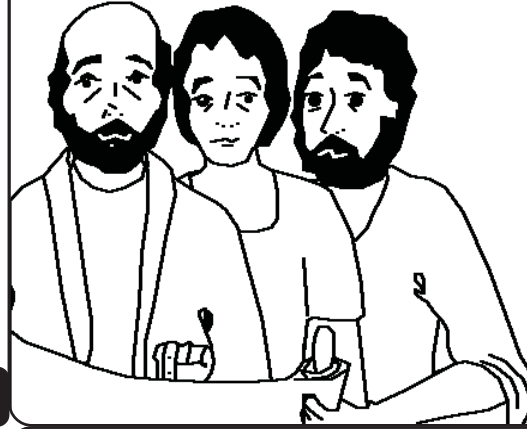
20

とうとう、パウロは、ローマにつきましたね。でも、パウロのさいばんがはじまるまで、それから2ねんいじょうも、かかったのです。そのあいだ、パウロはいえをかりて、たずねてくる人々を、よろこんで出むかえました。



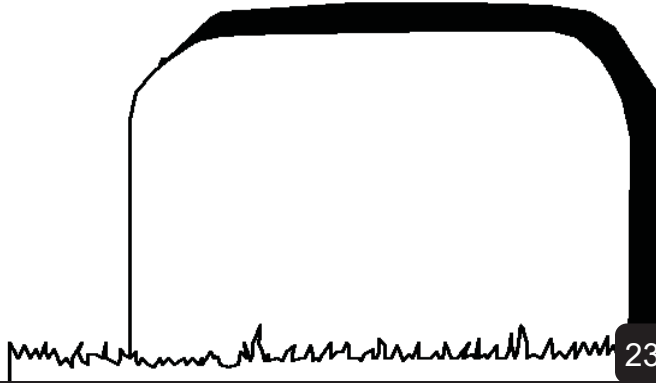
21

さて、みなさん、パウロはその人々に、なにについてはなしたか、わかりますか。もちろん神のみ国！主なるイエスキリストです！パウロは、ローマでも、ほかのどんなところでも、いつでも神さまのよきしもべですね。



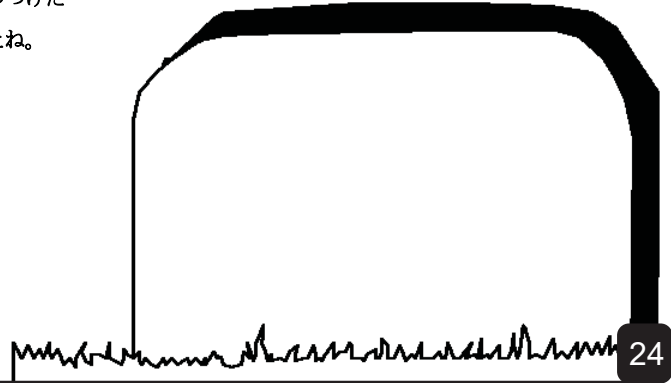
22

「わたしは、たたくいを、りっぱにたたかしてきました。わたしは、そのみちを、走りとおしました。そして、信こうを、まもりつづけました。」パウロは、ローマから、でしにこのてがみを書きました。聖書には、パウロの一生が、どのようにおわたか書いてありません。



23

けれども、ほかのきろくに、パウロは、皇ていネロのめいれいで、ローマで首を切られたと書いてあります。いつも、つよい信こうをもっていた神さまのしもべパウロは、生きていたときと同じように、死んでいきました。人々にイエスキリストについて、はなしつづけた人でしたね。



24

パウロのびっくりするようなたび

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

使徒のはたらき 16 章、27-28 章、
テモテへの手紙 2 章

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。
詩篇 119:130

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっていらっやいます。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくい、死です。

神さまは、私たちをととも愛されたので、み子イエスをこの世におくってくださいました。そして、イエスさまが十字架で亡くなられることによって、私たちの罪をとってくださいました。イエスさまは、よみがえられ天国へもどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてくださいます。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってください、よみがえって、今また生きていらっやることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにすることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3:16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！